

— 世代を超えて地域の力 —

東京地婦連70年のあゆみ



特定非営利活動法人
東京都地域婦人団体連盟
創立70周年記念

創立 70 周年を迎えて

会長 谷茂岡 正子



東京地婦連は、首都東京の地域組織として、戦後間もない昭和 23 (1948) 年 4 月に誕生、今年創立 70 周年を迎えました。当初「明るい住みよい社会の建設」をスローガンに発足、昨今は「世代を超えて地域の力」をテーマにさまざまな活動を行ってきました。

表現は異なっても目指すところは、全く変わりありません。この 70 年間、女性、青少年、高齢者問題等、消費者が真に心豊かに生活するためにはどうしたらよいか、皆さんで問いかけながら歩んできました。

こうした地域の活動の中から自然環境を守ると共に人間尊重、公害追放、平和を築くことにも力を注いできました。しかし社会情勢は厳しく、日進月歩、複雑多様化する中、男女共同参画、少子高齢化、地球環境と自然災害問題等、誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会を築くためには、温かな交流の輪、コミュニティー同士の連携を強めていくことも必要だと思います。

私たちは 70 年間の運動をふまえ、人間らしい生活を送る上にも、国際化が進む中でのくらしの問題など、新たな課題に視点を据えていかなければならないと、強く感じています。

今後もお互いに健康に注意しながら、行政や各方面からの情報を共有し、活動していきたいと願っています。頑張りましょう。

2018 年 4 月 21 日

—世代を超えて地域の力—

東京地婦連は昭和 23 (1948) 年に婦人会組織を基盤に創立され、地域に根ざし、暮らしの中から住み良い地域社会をつくる活動を実践しています。

平成 21 (2009) 年に社会的信用の強化と 21 世紀の市民活動をさらに広げていくため、NPO 法人格の認証を取っています。活動分野は消費者活動、平和活動、環境問題、男女共同参画、高齢者福祉、子どもの健全育成など 13 の分野に登録をしています。

総務部長

宮原恵子

昭和30年代に地婦連の諸先輩が悪書追放運動を立ち上げ、広がっていった経緯がありました。

今、コンビニエンスストアの店主が自主的に成人向け雑誌などを置かないという動きが広がりつつあるといえます。これからも青少年の環境問題に目を向けて取り組んでいきたいと思っています。

さらに戦争の恐ろしさやむなしさを、次世代に語り継ぐ運動も続けていきます。

文化・青少年部長

中野三千代

「食品添加物」を知ったのは、昭和38年開設の婦人学級に出席した時だった。「一人の百歩より百人の一步が力になる」並木良さん（元副会長）の本当の願いを知る。

話し合い学習を身につけた婦人たちが「石けん運動」から「安全とうふ」「無添加ハム・ソーセージ」へと運動が進み、学校給食へと参入でき、今も続いている現状は西多摩全域の婦人たちの力強さの賜物と思う。「ごみ問題、エネルギー、循環型有機農業」の実現へと「賢い消費者たれ！」を胸に。

文化・青少年副部長

鈴木文子

子どもの貧困と聞いて驚いた。ゲーム機、スマートフォンなどは持っている。でも個食、居場所がない、見た目には分からない。そこで子ども食堂、子どもの居場所、学習支援が進められている。地域で子どもを見守り、支えていければと思っている。

社会福祉部長

黒崎照子

高齢者問題に取り組み、介護、医療、福祉などの学習や施設見学をしてきましたが、まだまだ先が見えません。

厳しい社会情勢の中、暮らしの安全、安心の見地から今まで以上に人と人とのぬくもりを目指し、地域に根差した活動を続けていきたいと思っています。

政治・経済部長

福本悦子

夢の島に身を置く第五福竜丸は、建造71年、被ばくから64年を迎え、今も平和を発信し続けています。

「第五福竜丸」はなぜここにあるのか、核兵器とは何かを、もう一度考えてみましょう。

そばに植えた私たちの八重紅大島桜が咲くころ、平和に感謝し、ここにまた集いましょう。

生活環境部長

高梨洋子

高齢化の波には逆らえず、地域の婦人会も苦戦を強いられている現実がありますが、たとえ微力であっても無力ではありません。

地域密着の医療、介護、防災等々取り組むべき問題は多く、機会あるごとに「平和」を問い続けることも、戦争を体験した世代として大事な役割です。これからも消費者の目線で活動を続けていきます。

生活環境副部長

秋吉セツ子

10年ひと昔と言いますがその歳月を7回も重ね、今年東京地婦連は70周年を迎えました。諸先輩の皆さまの並々ならぬご努力の賜物です。

次の10年もその先もずっと平和で、安心安全な社会が続くよう、地域の小さな課題に取り組みながら、私も微力ながらこれからも頑張っていきたいと思っています。

副会長

山下陽枝

東京地婦連は、今年創立70周年を迎えることになりました。東京には私たちが解決しなければならぬ大都市特有の教育、福祉、消費者などの問題が山積しています。

東京地婦連も会員減少などの厳しい時ではありますが、70周年を機に会員の皆さまが相互の絆をさらに強くして、知恵を出し合って地域から発信していきたいと思えます。

副会長

端山純子

戦後の混乱期の中、家庭から地域に目を向けた主婦たちが、各地域に婦人会を作り、住みよい世の中にするための活動を地道に続けられ、東京地婦連は今年創立70周年を迎えます。

これからも今までに培った地域に根ざした活動が続けるとともに、高齢者問題、災害対策などについて、地域ぐるみできめ細かく取り組んでいきたいと思っています。

副会長

大北恭子

今年は、東京地婦連が創立70周年を迎える大切な年です。まずは健康に注意し、人と人の和を大切にして事業を進めていきたいと思っています。

最近の隣国の動きをみていると、不安な動きが見えてとれます。戦争のない平和な暮らしを求め皆さんとともに、賢い判断で戦争のない平和な日々を願って活動を続けていきたいと思っています。

書記

飛田恵理子

昨年ICANに贈られたノーベル平和賞は、核兵器廃絶運動を継続してきた私たちにも、心温まるニュースでした。

振り返りますと、初代山高しげり会長時代から地域・社会にまいてきた、あまたの願いを込めた種が育つ一方で、東京地婦連が今なお取り組むべき活動分野は少なくありません。

国民主権の伝統を守り、ゆつくりと着実に歩みたいものです。

会計

高須光代

私たちが今活動しております東京地婦連も70周年を迎えました。

発足当初から先輩方が築かれてつないできた絆を、さらに未来につないでいくために、共に活動して人材を見つけ出していきたいと思っています。そしてお互いに自己研さんを積んでいきたいと思っています。

監事

藤田静江

東京都地域婦人団体連盟創立70周年おめでとうございます。

私は50周年の何年か前に加入したので、50周年記念式典は小柴美知会長のもと、盛大に行われたのを覚えております。あつという間に20年が経ってしまったのだと思うと感無量です。

谷茂岡正子会長が私たちわか草婦人会の会長でもあるので、総会、研修会などできるだけ出席するよう心がけています。

活動の記録（平成



女たちの戦争体験 DVD と文集



ピースアクション in TOKYO 平和活動報告
＝渋谷・ウィメンズプラザ



第 59 回指導者研修会＝長野県軽井沢町



暮らしの包装商品展
＝浜松町都立産業貿易センター



第33回北方領土の返還を求める都民大会
＝アジュール竹芝



東日本大震災被災地塙町婦人会との交流
＝福島県塙町

20 年～平成 29 年)



マイナンバー制度を学ぶ＝全国婦人会館



放課後の児童指導サポーター活動＝葛飾区



複十字シール運動で表敬訪問＝東京都庁



衆・参両院(東京都選出)議員へ
受動喫煙防止対策に要望書
＝議員会館



フードドライブ運動＝葛飾区



東京都消費者月間暮らしフェスタ東京
＝新宿駅西口地下広場イベントコーナー

近年の活動年表 (平成 20 年～平成 29 年)

平成20(2008)年度

創立 60 周年記念のつどい。汚染された事故米不正流通問題で各省へ再発防止策を要望。一般用医薬品のインターネット販売規制を要望。よりよい地域医療を目ざし、救急医療・高齢者の医療制度問題の学習会開催。電磁界情報センター発足に協力。婦選獲得 63 周年記念集会に参加

平成21(2009)年度

安全でおいしい水の問題で、東京都水道局・日本チェーンストア協会へ要望。電話のユニバーサルサービス制度について学習、意見書を提出。日本の農業の今を知る～自給率について学習。東京都消費者月間で、放射線照射食品の問題についてミニセミナーを開催

平成22(2010)年度

「女たちの戦争体験」DVD と体験文集「戦争を語りつぐ」を自主制作。介護福祉用具使用についての調査実施。東京都青少年健全育成条例の改正に反対の意見書提出。「築地市場移転問題」「地域における男女平等参画の現状」「税と社会保障の共通番号・国民 ID 制度」について学習

平成23(2011)年度

会長に谷茂岡正子就任 (12 月 1 日)。国立女性教育会館独立運営についての要望書提出。福島県塙町婦人会との交流「東日本大震災を体験して」。戦争を語り継ぐ DVD 「女たちの戦争体験と文集」マスコミへの普及活動。「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める」全国署名に協力

平成24(2012)年度

東京電力電気料金値上げ申請に反対表明。エネルギー・環境に関する選択肢に意見書「私たちはゼロシナリオを選択します」東京電力へ提出。BSE 対策見直しに意見書提出 (食品安全委員会)。消費者アンケート「これからのエネルギー問題について」実施。全国婦人会館建て替え工事開始。全国地域婦人団体連絡協議会「関東ブロック会議」開催 (日本青年館)

平成25(2013)年度

「これからのエネルギー問題について」調査を基に東京都に申し入れ。消費増税の前に「食品への課税を見直し山積する課題解決への真摯な取組を」意見書提出 (内閣総理大臣)。意見書「私たちは『特定秘密保護法案』の今国会での廃案を求めます」提出。学校教材用 DVD 「親子で体験、ニッポンの行事と料理」を制作

平成26(2014)年度

照射食品反対「青汁にも放射線照射が」院内集会。「光サービスの乗り換えにはご注意ください」チラシ配布。東京都消費者月間で「あなたが望む終のすみか」についてパネル展示及びアンケート実施。新全国婦人会館竣工

平成27(2015)年度

東京都消費者月間で「あなたにはかかりつけ医がいますか」のアンケート実施。「介護付き有料老人ホーム舞浜倶楽部」見学。「マイナンバー制度」について学習会。消費者庁移転について意見書提出。「感震ブレーカー」ガイドラインに協力

平成28(2016)年度

「高齢者が住みなれた地域でいきいきと安心して暮らすために」アンケート実施。東京都消費者月間で「院内・院外薬局の利用についての意識調査」及びパネル展示実施。「受動喫煙防止対策を強化する健康増進法改正案に対する要望書」提出

平成29(2017)年度

「お花見平和の集い」第五福竜丸展示館で実施。全国結核予防婦人団体連絡協議会創立 40 周年記念「婦人の国際会議」参加。東京都消費者月間でパネル展示「シニア世代のフレイル (虚弱)・認知症・怪我や事故等の予防について」実施。カジノ・IR 招致反対のパブリックコメント提出。全地婦連「暮らしに関わる安全についての意識及び実態調査」に協力

平成30(2018)年度

創立 70 周年記念集会・祝賀会 (4 月 21 日) 開催

—主なできごと—

1 月 中国から輸入した冷凍ギョーザで食中毒発生
11 月 米大統領選でオバマ氏勝利

5 月 裁判員制度スタート
9 月 消費者安全法が制定され、消費者庁発足

6 月 探査機「はやぶさ」が 60 億キロの旅を終え 7 年ぶり地球に帰還

3 月 東日本大震災。東京電力福島第 1 原発で最初の水素爆発発生
7 月 サッカー女子 W 杯「なでしこジャパン」初優勝

5 月 東京スカイツリー開業。電波塔として世界一高い 634 メートル
10 月 iPS 細胞の山中伸弥さんノーベル医学生理学賞受賞

6 月 富士山の世界文化遺産登録決定
9 月 2020 年夏季五輪の東京開催決定
12 月 特定秘密保護法成立。与党採決を強行

4 月 消費税率 5% から 8% に

9 月 安全保障関連法成立

4 月 電力の小売全面自由化
5 月 オバマ米大統領現職大統領で初の広島訪問
7 月 初の女性都知事小池百合子氏誕生

4 月 都市ガスの小売自由化
6 月 テロ等準備罪を含む改正組織犯罪処罰法成立。上野動物園でメスのパンダ誕生
12 月 核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) がノーベル平和賞受賞

1 月 およそ 40 年ぶりの大寒波襲来、日本列島に居すわり豪雪災害
2 月 平昌冬季オリンピック・パラリンピック開催

平和へ～消費者市民社会の形成へ～

70年の歴史を重ねて私たちはこんな活動をしています

機関紙「婦人時報」 隔月15日発行

平成30年2月で764号

学習から活動へ

「指導者研修会・ブロック会議・中央集会」を毎年開催

消費生活、平和、環境、防災、青少年、高齢者、医療・介護、福祉、男女共同参画推進など、幅広いテーマについて学習し活動へとつなげる



2015年 中央集会



2016年 ブロック会議

調査から活動へ

「介護福祉用具使用について」の調査（安全性など）
「これからのエネルギー問題について」消費者アンケート調査

「あなたが望む終のすみ家について」アンケート調査
「あなたにはかかりつけ医がいますか」アンケート調査
「高齢者が住みなれた地域で生き生きと安心して暮らすために」消費者アンケート調査（在宅介護支援制度の周知度）
「院内・院外薬局の利用について」の意識調査

施設研修

環境（水素ステーション見学・水素カー試乗・天然ガスと太陽光発電のスマートネットワーク・スマートハウス見学）

防災（東京都防災センター、千葉県西部防災センター、そなエリア東京「防災体験学習施設」で研修）

高齢者（特別養護老人ホーム2カ所、有料老人ホーム）

平和（東京大空襲・戦災資料センター）



食品会社訪問



結核予防会 レントゲン車検診活動

地域・暮らしにつながる活動

食と暮らしの安心・安全を求める活動

生活環境を守る運動の推進（大気汚染測定NO₂カプセル調査、食品ロス削減、フードドライブの実施、受動喫煙防止対策の強化、カジノIR招致反対など）
消費者被害の未然防止・救済、表示の適正化、JIS・安全規格、防災制度、公平性評価への参画など
青少年の健全育成（放課後の児童指導サポーター、映画の推薦、子どもの貧困問題など）

法律や制度の制定・改廃を促す運動（意見書、要望書、パブリックコメント提出、請願署名活動など）
結核予防運動（複十字シール募金、街頭レントゲン検診活動などに協力）

平和への発信活動

お花見平和のつどいを開催（第五福竜丸展示館・広場）
核兵器廃絶祈念の植樹「八重紅大島桜」（第五福竜丸展示館広場、2000年）に引き続いて、同広場に新たに東京地婦連創立70周年平和祈念の植樹を予定。

「女たちの戦争体験」DVDと体験文集「戦争を語りつぐ」2010年制作・普及。またさらに戦後70年の節目（2015年）にも、同DVDと文集を広島、長崎、都内の非核宣言自治体、第五福竜丸展示館、東京大空襲・戦災資料センター、（翻訳出版社を通して依頼のあった）米スタンフォード大学日本語学科などに寄贈した。同年、「婦人時報」は戦後70年特集号を組む。「北方領土の返還を求める都民会議」は、1982年の発足当初より議長を東京地婦連会長が務め、元島民の思いを共有し、返還運動を長年継続。大会やビザなし渡航などに参加



お花見平和のつどい 2012

地婦連の消費者運動から生まれた化粧品「ちふれ」の普及活動

かつて再販制度撤廃を掲げ、いち早く全成分表示実施。さらに地球環境対策としてヘアスプレーのフロンガス廃止。詰替用の品目を増やし、バイオプラスチック容器を一部で採用するなど、エシカル（倫理的）な消費にもつながる「ちふれ」の普及活動を実施

その他（消費者団体等を除く）

（一社）くらしのリサーチセンター 企業の社会的責任を重視し、中立的な立場で調査・研究・などの啓発活動を長年実施している組織。消費者としてセミナーなどに参加協力
国民生活産業・消費者団体連合会（略称＝生団連）に平成23年12月の発足時から参画。防災・食品ロス・環境・男女共同参画・高齢社会・消費者問題など幅広い分野で協働



二酸化窒素測定結果区市別一覧 2017年11月30日～12月1日(単位:ppm)

測定場所	有効測定数	平均値	最高値	最低値	25年 平均値	26年 平均値	27年 平均値	28年 平均値
中央区	15	0.026	0.033	0.019	0.049	0.022	0.035	0.034
中央区	5	0.025	0.026	0.020	0.030	0.027	0.031	0.023
中央区	7	0.023	0.030	0.021	0.046	0.027	0.028	0.031
港区	5	0.025	0.030	0.015	0.042	0.036	0.029	0.032
港区	5	0.013	0.025	0.017	0.037	0.033	0.031	0.037
港区	3	0.021	0.029	0.016	0.045	0.041	0.030	0.028
港区	24	0.021	0.031	0.031	0.041	0.025	0.026	0.032
港区	1	0.031	0.031	0.031	0.027	0.023	0.023	0.023

二酸化窒素測定結果の報告

昨年11月30日から12月1日にかけて、東京地婦連では、市内の二酸化窒素の測定を行いました。測定結果は、平均値は0.026ppm、最高値は0.033ppm、最低値は0.019ppmでした。これは、昨年11月の測定結果と比較して、平均値は0.001ppm減少、最高値は0.001ppm減少、最低値は0.001ppm増加しています。

若い消費者を守るか

1月20日、国会での安部首相の演説が、若者の消費行動に大きな影響を与えている。若者の消費行動は、従来の消費行動とは異なり、インターネットを活用した消費行動が増えている。若者の消費行動は、従来の消費行動とは異なり、インターネットを活用した消費行動が増えている。若者の消費行動は、従来の消費行動とは異なり、インターネットを活用した消費行動が増えている。

東京地婦連・年表

—創立から60年のあゆみ—

- 昭和23(1948)年度 東京都地域婦人団体協議会創立総会(4月)「明るい家庭、住みよい社会の建設」をスローガンに発足。加盟団体29、初代会長は山高しげり
- 昭和24(1949)年度 第1回東京都地域婦人大会
- 昭和25(1950)年度 新生活運動関東婦人会議(この会議が契機で関東ブロックが生まれ、全国地域婦人団体連絡協議会結成につながる)
- 昭和26(1951)年度 停電続きに値上げで、電気料金値上げ反対運動。汲み取り料金値上げ反対運動
- 昭和27(1952)年度 全地婦連創立総会(7月)。第1回夏期指導者講習会(西多摩郡御岳山)
- 昭和28(1953)年度 機関紙「婦人時報」発刊
第1回「主婦の教養講座」田崎廣助画伯の話と一水会展鑑賞
- 昭和29(1954)年度 ビキニ水爆実験。原水爆禁止署名運動に参加
- 昭和30(1955)年度 第1回原水爆禁止世界大会に参加。「桜映画社」設立(山高会長が社長)
- 昭和31(1956)年度 都議の退職慰労金支給反対運動に参加
- 昭和32(1957)年度 全地婦連第1回関東ブロック会議に参加
- 昭和33(1958)年度 創立10周年のつどい
各区選挙管理委員に婦人を入れる運動。第1回「婦選会議」(7婦人団体)
- 昭和34(1959)年度 入浴料金大幅値上げ反対の要望書を都知事に提出
- 昭和35(1960)年度 6婦人団体による公共料金値上げ反対運動
- 昭和36(1961)年度 ブロック別研究協議会開始、以後毎年継続
- 昭和37(1962)年度 国会議員歳費値上げ反対街頭運動(新橋・新宿・池袋)
- 昭和38(1963)年度 青少年をタバコの害から守る運動
- 昭和39(1964)年度 水道料金大幅値上げ反対の要望書を都知事に提出
- 昭和40(1965)年度 すべての深夜興行禁止を総務長官に要望
- 昭和41(1966)年度 子どもの遊び場点検運動
- 昭和42(1967)年度 公営ギャンブル廃止運動。沖縄返還国民署名募金運動に参加
- 昭和43(1968)年度 創立20周年記念「桜を植えるつどい」桜300本植樹(府中市浅間山)
「ちふれ化粧品」の誕生
- 昭和44(1969)年度 有害添加物チクロ入り食品の不買運動。テレビ広告・番組調査(スポンサーに自粛を要請)
- 昭和45(1970)年度 第1回北方領土復帰実現婦人青年集会(根室市)。カラーテレビ買い控え運動(終結宣言昭和46.4.16)
- 昭和46(1971)年度 再販制度廃止・公共料金値上げ反対運動。第1回都民ゴミ会議
- 昭和47(1972)年度 ムダな包装追放運動。八丈島ストリップ劇場反対運動を支援
- 昭和48(1973)年度 「緑の銀行」実行委員会(植樹運動)が発足。輸入牛肉指定店モニター事業、生鮮食料品等価格調査とテレホンサービス開始
- 昭和49(1974)年度 大気汚染の実態調査「二酸化窒素NO₂の測定」スタート。菌の110番開設
- 昭和50(1975)年度 独禁法強化改正消費者集会。残飯残菜について実態調査
- 昭和51(1976)年度 照射ジャガイモの表示の徹底を都知事に要望。家庭常備薬の調査。ポルノ雑誌自動販売機実態調査。第1回医療問題を考える対話集会

東京地婦連・年表

昭和52(1977)年度	初代山高しげり会長逝く。1977 年原水爆禁止世界大会に代表を送る 資源リサイクル運動をすすめるための調査
昭和53(1978)年度	会長に末永広子就任。創立 30 周年記念大会。国連に核兵器完全禁止を要請する日本 代表団に参加。東京都消費者週間はじまる（のち、消費者月間となる）
昭和54(1979)年度	世界の飢えた子に 1 日分のオヤツ代を贈る運動を提唱。「子どものためのテレビ CM 連絡会」結成、後に民放連「子ども向けコマーシャルの留意事項」は制度化に
昭和55(1980)年度	古紙回収再利用を考える集会。中華全国婦女連合会との交流
昭和56(1981)年度	バングラデシュの子らにビタミン A を贈る運動に参加。大型店出店規制反対運動
昭和57(1982)年度	会長に小柴美知就任。東京ファミリーサービスクラブ事業開始 第 1 回北方領土の返還を求める都民大会（会長に小柴就任）
昭和58(1983)年度	酸化防止剤 BHA 添加の有無を調べるため煮干し・じゃこの試買テスト実施（使用禁 止に関する要望書を厚生大臣に提出）
昭和59(1984)年度	非核東京都宣言を求める請願署名運動
昭和60(1985)年度	福島県都路村と提携、野菜・卵を東京都「消費者まつり」で販売 ※都路村（現田村市）からの農産物の供給は、2011 年 3 月の原発事故により「生産不能」 という悲しい連絡があり、中止された
昭和61(1986)年度	チェルノブイリ事故に関連して原子力発電の安全性について要望 '86 反核・平和のつどい（共催）。円高差益の消費者還元運動（並行輸入、価格構成公表）
昭和62(1987)年度	価格問題で大手スーパーとの懇談会。後楽園競輪復活反対要望
昭和63(1988)年度	創立 40 周年記念のつどい。銀行倶楽部を全面保存する運動
平成元(1989)年度	フロンガス入りスプレーを買わない運動の提唱。消費税の見直し・廃止を求める運動 に参加 東京大空襲の地を見て平和について考える集い
平成2(1990)年度	中東湾岸戦争に反対する運動に参加。再生紙トイレットペーパーを使う運動。リサイ クル条例の制定を求める運動
平成3(1991)年度	'91 東京ごみ集会に参加。青果物にトレーはいらない運動 サッカーくじ導入反対運動開始
平成4(1992)年度	有機・低農薬・無農薬表示の農産物に関する意識調査
平成5(1993)年度	製造物責任法の制定を求める運動（欠陥品不満・被害意識調査）
平成6(1994)年度	製造物責任法成立。消費税率引き上げに反対する運動を展開 テレビショッピングに関する意識調査
平成7(1995)年度	北方四島ビザなし渡航事業に参加開始。冷凍庫火災裁判支援のための傍聴開始。薬害 エイズ訴訟の早期全面解決を求める運動に参加
平成8(1996)年度	有機農産物等のガイドラインについての要望
平成9(1997)年度	サッカーくじ導入法案反対国会傍聴・要請行動・要望書提出 「第五福竜丸エンジンを東京夢の島へ」の運動を展開。テレビ CM のあり方を問うシ ンポジウム開催。遺伝子組換え食品の表示を求める運動

—創立から 60 年のあゆみ—

- 平成10(1998)年度** 創立 50 周年のつどい。消費生活テレホンサービス事業の終了(1974 年から 24 年間「お台所ダイヤル」で親しまれた)。輸入食品表示調査。サッカーくじ法成立、抗議声明。「グリーンコンシューマー東京ネット」に参加
- 平成11(1999)年度** 冷凍庫 P L 裁判支援 (全面勝訴 8 月 31 日)。家電製品のカタログ点検調査 (事業者アンケート・調査報告会)。青少年を取り巻く状況と少年法を考える懇談会。消費者契約法早期制定を求める運動に参加
- 平成12(2000)年度** 会長に川島霞子就任。特定非営利活動法人格取得 (11 月)。三宅島救援募金活動。「子ども用プラスチック玩具と文房具の素材表示」調査と報告会。「やった! 勝った! P L 裁判徹底討論〜三洋冷凍庫火災事件〜」開催。第五福竜丸から平和を発信する連絡会が発足。第五福竜丸展示館広場に八重紅大島桜を植樹 (緑の銀行運動最終植樹)
- 平成13(2001)年度** 「アフガニスタンの子どもたちを救おう」友情のお年玉街頭募金活動 (舞浜)。「初めての駅点検」調査と報告会。北方領土元島民と語る会。お花見平和のつどい開始 (第五福竜丸展示館前広場)。消費者、市民を裁判から遠ざける「弁護士費用敗訴者負担」に反対する運動開始。狂牛病 (B S E) 学習会・要請書・質問状提出
- 平成14(2002)年度** 築地市場移転先の豊洲土壌汚染問題説明会。東友会原爆犠牲者慰霊祭・追悼のつどいへ千羽鶴献納。「だれにもやさしく使いやすい公共交通機関」調査と報告会。イラク問題武力行使反対声明。サッカーくじコンビニ販売反対声明。くらしフェスタ協賛「身土不二」講演会
- 平成15(2003)年度** 子育ては大変! 聞かせてあなたの S O S 調査。東京大気汚染公害裁判支援。原爆症認定集団訴訟支援・裁判傍聴。米国での B S E 対策に関する要請書 (米農務長官他)。「有料老人ホーム表示」に関する意見書提出 (公正取引委員会)
- 平成16(2004)年度** 「駅のエレベーターとエスカレーターの利用」調査・事業者懇談会。自衛隊イラク派兵反対街頭運動。「平和憲法を守り抜く一票を」街頭リレートーク。新潟中越地震災害支援募金。「敗訴者負担法案」の廃案を求める市民集会、後に同法案は廃案になる。消費者保護基本法改正・公益通報者保護制度・団体訴権への取り組み、意見書提出
- 平成17(2005)年度** 「困った! 見つからない駅のトイレ」目立ってほしい表示調査と懇談会。ピースアクション共催。P L 法早期改正要望行動。結核予防複十字シール募金活動に参加。遺伝子組換え作物栽培指針・飼料の安全性確保など・少年法改正・サッカーくじ意見書提出。情報通信政策への提言活動。子ども向け教材「四季を楽しもう—うたと遊び」桜映画社と企画・製作
- 平成18(2006)年度** 食品表示問題研究会を実施 (築地市場見学)。照射食品反対連絡会に参加。「改正少年法」反対運動。「女性は子どもを生む機械」発言の柳澤伯夫厚生労働大臣の解任・辞任を求める抗議書提出。意見書・要望書 (利息制限法遵守・通信・有料老人ホーム・独占禁止法など)
- 平成19(2007)年度** 田中里子常任参与お別れ会。家庭内の家電製品使用期間の調査。改正少年法に反する警察の「ぐ犯調査」に反対する意見書提出。築地市場移転問題学習会

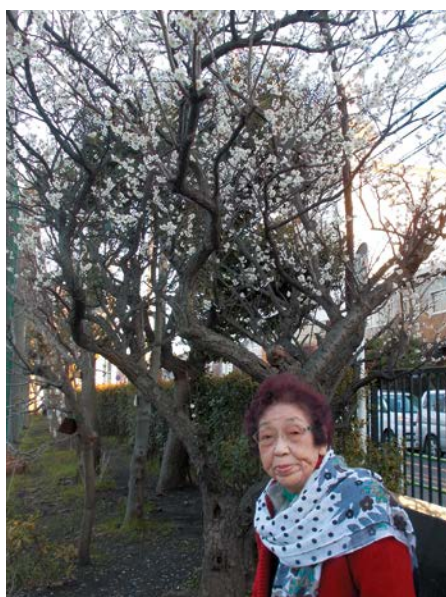
平成 20 (2008) 年度以降の近年の活動年表は 6 ページにつづく

緑の銀行運動とは

公害追放・生活のムダ見直し運動から昭和48（1973）年にスタートした「街に緑を」植樹運動は、会員が冠婚葬祭の簡素化を図り、慶弔事のお返しの一部を寄付し、緑の銀行口座に預ける募金で苗木を購入し、都内各所に植樹した運動。平成9年度末の植樹本数集計では24558本。その後平成12（2000）年、第五福竜丸展示館広場に「核兵器廃絶と平和を祈念して」八重紅大島桜の最終植樹を行った



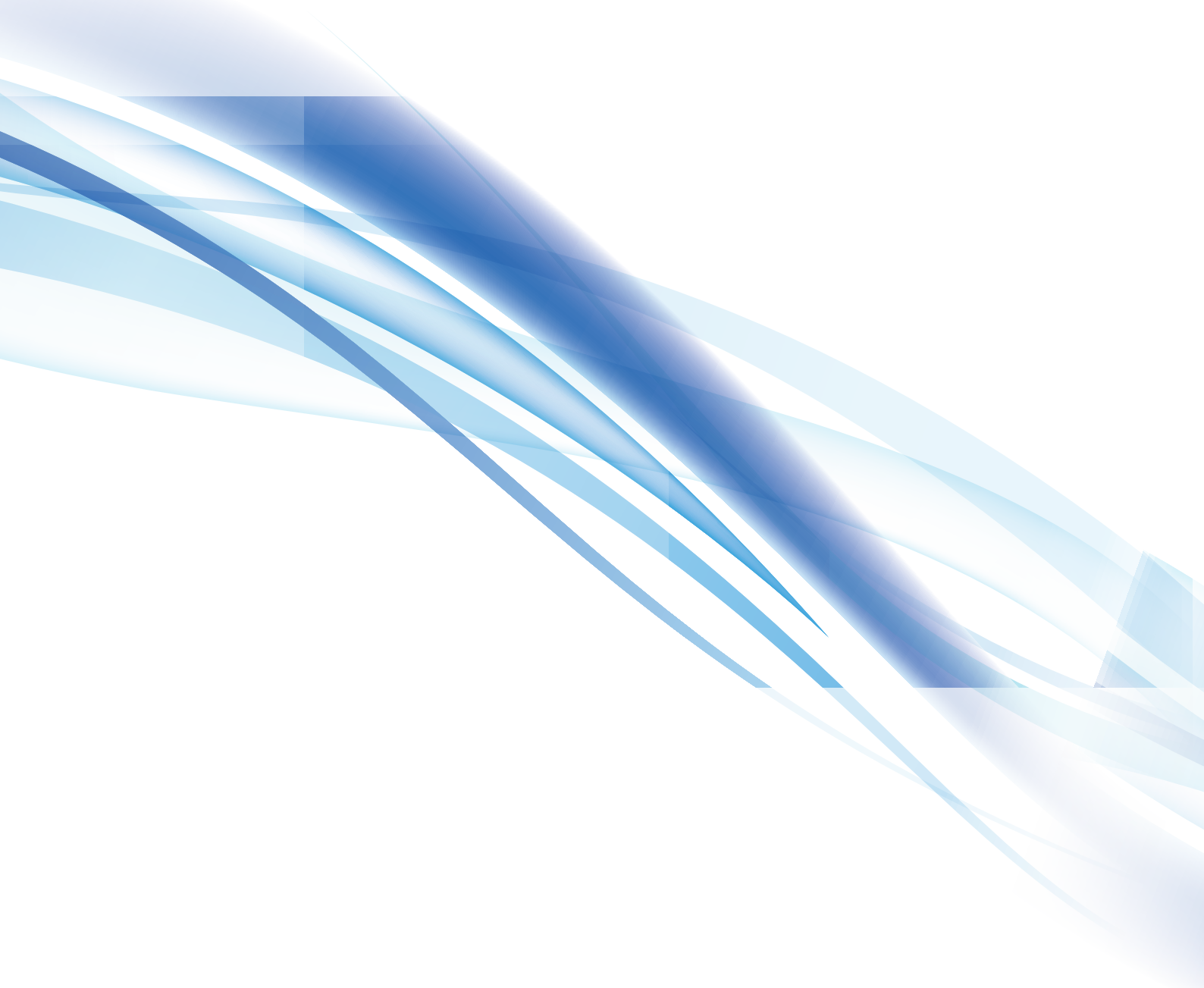
エンジン（右）を見つめて「八重紅大島桜」は18歳に
＝ 2018 年 3 月、第五福竜丸展示館提供



昭和 54 年植樹の梅＝葛飾区

新着 植樹ニュース

第五福竜丸展示館広場前の「八重紅大島桜」近くに、創立 70 周年を記念して「里桜（サトザクラ）」を植樹します。潮風に強い品種です。展示館は近く建て替え工事が行われますので、終了次第平成 30 年度内を予定しています。



特定非営利活動法人 **東京都地域婦人団体連盟**（東京地婦連）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-17-14 全国婦人会館 1 階

電話 03-3407-2370

<http://tokyo-chifuren.jp>

平成 30 (2018) 年 4 月 21 日発行